ゆめ半島千葉国体トライアスロン競技大会　ヘルメット検査、バイク車検　20100919案01

レースNO:＿＿＿＿＿＿＿＿　選手名:＿＿＿＿＿＿＿＿　都道府県名:＿＿＿＿＿＿＿＿

担当審判員名:①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　担当審判員名:②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

注:審判員2名のダブルチェックとする。
注:選手立会いのもと実施する。
注:否項目が有る場合には、対処方法を必ず明記する。選手自身又は公式メカニックでの改善指示をする。
　改善後再度チェックを行う。　審判長、技術代表へ報告する。

※ノギス・定規・メジャー・水平器付きの紐・チェック板(木製)

□ヘルメット検査

1.

ロゴ表記:
前面1ヵ所に面積30 c㎡以内、もしくは両サイドに20c㎡以内とする。
ヘルメットへの表示類はそのメーカー名、ブランド名及びロゴ以外の表示は禁止する。
これら以外の表示がある場合は、テープなどで隠すよう指示をすること。

①「ノギス・定規他」を使用し、高さを計測する。
②「ノギス・定規他」を使用し、横幅(底辺)を計測する。
③「面積の早見判断表」を参照し、面積15c㎡以内かのチェックをする。

【ヘルメットの色】

【ヘルメットメーカー名】

1．合　否

2.

硬質ヘルメット 安全のための諸注意

【正しいかぶり方】

【正しいかぶり方】ヘルメットのストラップは軽く指が入るくらい

【悪いかぶり方】おでこを出す。きちんとカバーするようかぶってください

【悪いかぶり方】アゴから外れるようでは危険ですのでしっかりしめてください。

撮影協力:稲毛インターナショナルトライアスロンクラブ・サイクルハウスGIRO

第85条バイク競技では、常にバイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い正しく着用していなければならない。

2　着用するバイク競技用硬質ヘルメットは、次に掲げる基準に適合したものを奨励する。
(1)Snell Memorial Foundation スネル記念財団
(2)American National Standard Institute(ANSI Z90.4)米国規格協会
(3)U.S. Consumer Product Safety Commission(16CFR Part 1203)米国消費者製品安全委員会
(4)CEN European Standard (EN1078)CEN欧州標準
(5)The National Swedish Board of Consumer Policy　スウェーデン消費者機構
(6)財団法人日本自転車競技連盟(JCF)

3　ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などがあるヘルメットの使用は禁止する。

2．合　否

□バイク車検

3.

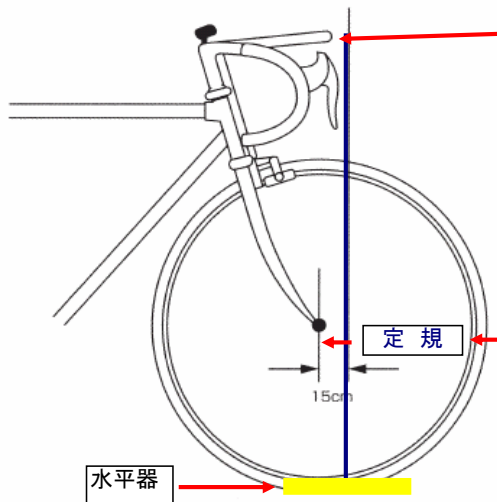
ロゴ表記
バイクへの表示類はそのメーカー名、ブランド名及びロゴ以外の表示は禁止する。
これら以外の表示がある場合は、テープなどで隠すよう指示をする。

1）競技者の所属する会社並びに所属するクラブ学校名及び
　スポンサー名などを表記することを禁止する。
2）製造者のロゴのみ表記できる。製造者とブランド名は共には表記できない。
　ただしその範囲は以下とする。
a)フレーム、ホイール、ペダル、ハンドル、など異なる複数の製造者で構成されている場合も、
　それぞれ2か所のみ製造者の表記が認められる。ただし事前検査で認められない場合もある。

3．合　否

4.

エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より１５ｃｍ以上、前方に出てはならない。

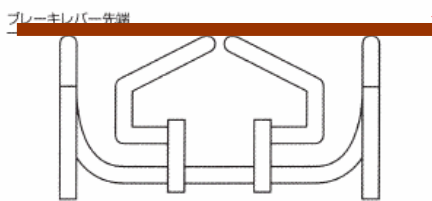
定 規
15cm
水平器

①チェック用の紐をエアロバーの先端に取り付ける。

②紐の先端に取り付けた水平器をチェックし紐が直角、水平になっている事をチェックする。

③紐と前輪ハブ軸部分をチェック用定規で測定する。

4．合　否

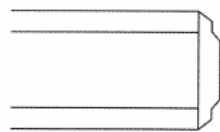
5.

エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。

ブレーキレバー先端

チェック板をバイク正面より左右ブレーキレバーに当てて、エアロバーをチェックする。

5．合　否

6.

エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければない。

重度の改善が必要な場合はメカニックで改善するよう指示をする。

簡易で改善可能な場合は、ビニールテープ他で改善するよう指示をする。

6．合　否

7.

エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。

7．合　否

8.

ディスクホイールの使用を禁止する。ホイール規定（第79条）
スポーク数は12本以上とする。（追加ITU競技ルールから）

8．合　否